

各 位

2022年2月24日

SBI AntWorks Asia 株式会社

SBI AntWorks Asia、えんしんキャピタルと 統合オートメーション プラットフォームの販売で提携を開始

統合オートメーション プラットフォーム「ANTstein SQUARE」を日本国内向けに販売する SBI AntWorks Asia 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：横山 宏明、以下「当社」）は、静岡県浜松市に本店を置き、地域社会の繁栄に積極的に貢献する遠州信用金庫のグループ企業であるえんしんキャピタル株式会社（本社：静岡県浜松市、代表取締役：鈴木 靖、以下「えんしんキャピタル」）と販売契約に合意をしたことを発表いたします。

当社が提供する「ANTstein SQUARE」は、統合オートメーション プラットフォームとして、業務自動化を実現する「QueenBOT RPA」、AI の活用によって自動化の対象としてふさわしい業務を見つけ出す「Process Discovery」（プロセスディスカバリー）、AI の機能でドキュメントからデータを読み取りデジタル化する「Cognitive Machine Reading」（コグニティブ マシン リーディング、略して CMR）のような様々なプロダクトで構成されます。

えんしんキャピタルは、静岡県浜松市中区に本店を置く遠州信用金庫のグループ会社で、ベンチャーキャピタル業務および M&A 業務を担っています。様々なソリューション事業でこれまでに培ったノウハウを QueenBOT RPA の展開にも適用し、業務自動化に関するコンサルティングからロボット開発、導入後の保守サポートまでを提供していきます。

今回の契約合意についてえんしんキャピタルの代表取締役、鈴木靖様は次のように述べております。

「地元企業における個別の業務の課題や、高度化、効率化の問題を解決するものとして提供を行っていきたいと考えております。」

「ANTstein SQUARE」についてご興味がある場合は当社（mktg@sbiantworks.com）、またはえんしんキャピタル（capital@enshu-shinkin.jp）までお問合せください。

■SBI AntWorks Asia 株式会社について <https://www.sbiantworks.com/>

2015年に創立したシンガポールに拠点を持つ AntWorks Pte.Ltd.は、シリーズ A ラウンドで SBI ホールディングスから 1,500 万米ドルを調達し、米ソフトウェア業界団体 SIIA の第 43 回 CODiE アワードで「ベスト AI ドリブンテクノロジーソリューション」を受賞するなど、AI や RPA の分野で注目されているスタートアップ企業です。

SBI AntWorks Asia 株式会社は、AntWorks と SBI ネオファイナンシャルサービシーズ株式会社による合弁会社で、日本国内を中心として、AntWorks 社の製品を販売しています。

■えんしんキャピタルについて

2004年に遠州信用金庫の子会社として設立。投資事業組合の運用や、企業の合併・買収、事業継承、事業提携の仲介、企業経営に関するコンサルティング等による地元企業への支援。企業へのソフトウェアやハードウェアの導入による事業効率化や課題解決を行ってまいりました。近年では RPA や AIOCR 等による業務のデジタル化による地元企業へ情報提供やソフトの導入等も行っております。

※文中の製品やサービスなどの名称およびロゴは、各社の商標または登録商標です。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：mktg@sbiantworks.com